



週報 第3017回

会長 藤野 修次 副会長 藤原 重行
幹事 寺田 敏也 SAA 泉谷 仁博

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス izumiotsu-rc@iocrvz.ac.jp
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



泉大津ロータリークラブ

IZUMIOTSU ROTARY CLUB



今週の例会 (2019年2月9日)

■ プログラム

分区分 7 大阪合同例会

■ 次週のプログラム

2月15日: 特別卓話
大阪府議会議員
大橋 一功 様

■ 今後の予定

2月22日: クラブフォーラム
(国際奉仕)

■ 祝 誕生日

寺田 敏也 (13日)

■ 今月のロータリーソング

四つのテスト

今月の歌

ペチカ

雪の降る夜は 楽しいペチカ
ペチカ燃えろよ お話しましょ
昔 昔よ 燃えろよ ペチカ

■ 先週の例会

会長の時間

藤野 修次 会長



今日は、「ごめんなさいと言えますか?」を題でお話させていただきます。「ごめんなさい」という言葉……たったこれだけの言葉ですが、口に出して言うのが難しいものです。家族や友人、職場の同僚など、身近な人との間でトラブルが起こった時、どのように対応していいかわからない。「自分では正しい」と思っていないでしょうか。相手ばかりを批判して、心を傷つけるようなことはしていないでしょうか。又 済んでしまった事に、愚痴をこぼしていないでしょうか。「私が悪かった」と反省し、素直に謝ることができていないでしょうか。この「反省」とは、なかなか難しいものです。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3017回

たとえ自分が悪いと分かっていても、素直に謝れない事もあります。一方で、他人の過ちに対しては、すぐに厳しい目を向けてしまいます。私たちの批判の目は、他人に対しては簡単に向けられますが、自分自身にはなかなか向きにくい所があります。しかしそうするばかりでは、一応の問題は解決したとしても、後味が悪く、人間関係がギスギスしてしまいます。わたしたちは物事が思う様にいかない時「あの人が悪い」「この人が悪い」と言うように、不都合の原因を他人や周囲の環境に求めてしまいがちです。問題の原因は、確かに相手や周囲の環境にあるかもしれませんが、しかし当事者である自分自身に、まったく原因も責任もないとは言いきれないこともあります。悪い原因があるとすれば取り除きたいものですが、相手や周囲の環境を変えるのは容易なことではありませんが事態を改善するために一番手取り早く改める事が出来るのは、自分自身であると思えます。自分自身を顧みることなく他人に指をさすのは、簡単なことです。しかし「あの人が悪い」と、他人を指さす形を見ると、中指・薬指・小指の三本はどちらを向いていますか?相手に向けた「人差し指」一本にして、自分のほうに向いている三本の指があります。それは、他人を一度さすごとに、自分を顧みて三度反省しなければならないという事を教えてくれているのではないのでしょうか?

■ 幹事報告 寺田 敏也 幹事

- メールボックスに、ロータリー日本財団より確定申告用寄附金領収証、今年度後期会費納入のお願い、ロータリーの友2月号、クラヒラさんからの抜萃のつづりが入っております。
- 和泉ロータリークラブ例会変更のご案内
2月13日(水)の例会は2月9日(土)の分区分7大阪合同例会
3月6日(水)の例会は同日、家族会
- 2月8日(金)の例会は、2月9日(土)分区分7大阪合同例会のため休会となります。
- 本日例会終了後、理事役員会を開催します。

■ 委員会報告

なし

■ 祝 誕生日

松村 泰英 (4日)



■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数43名 出席免除0名

| 月日 | 出席数 | 欠席 | 補充 | 出席率 |
|------|-----|-----|----|--------|
| 2/1 | 33名 | 10名 | — | 76.74% |
| 1/18 | 35名 | 8名 | 2名 | 86.05% |

■ メークアップ

榎本(1/23 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

丹農(1/23 和泉RC)

■ ニコニコ箱

- ・南出市長様、本日おこし下さりありがとうございます (藤野)
- ・南出市長、新春卓話よろしくおねがいします (寺田)
- ・南出市長、特別卓話宜しくお願い致します (泉谷)
- ・南出市長、卓話有難うございます (釜野)
- ・欠席のお詫びとお見舞のお礼 (八木 (秀))
- ・欠席のお詫び (松内)
- ・欠席のお詫び (丹農)
- ・欠席のお詫び (西野)
- ・早退のお詫び (南出)

| | |
|---------|----------|
| ニコニコ箱合計 | 19,000円 |
| 累計 | 581,000円 |

■ 先週のプログラム



特別卓話 泉大津市長 南出 賢一 様

平素は市政の各般にわたり、多大なご尽力をいただき心より感謝申し上げます。本日は、ロータリークラブ例会の卓話にお招きいただきありがとうございます。本日は、泉大津市のまちづくり構想についてお話をさせていただきます。

昨年9月の台風21号で市の指定天然記念物になっている泉穴師神社のご神木が倒木いたしました。

この倒木をどうするか議論を重ねまして、クラウドファンディングにより寄附を募り「災害遺産」として残していくこととなりました。この取り組みが新聞で大きく取り上げていただきました。

1/31からはじまったクラウドファンディングも皆様のご協力により寄附が集まってきましたが、目的はお金を集める事ではなく、この倒木を知ってもらって関わってもらって、みんなで守っていくことで「ピンチをチャンス」に変えていき、大事なメッセージを後世に残していきたいということで、このような取り組みも始まっています。

次に、1つ皆様にお知らせがあります。2/5(火)にMBSの「ちんぷいぷい」で泉大津市が取り上げられます。ゴミ拾いを見える化できるような開発した会社の社長と取材を受けた様子が放送されます。

泉大津市では昨年9月から「泉大津市版ピリカ」を導入して、ゴミ拾いを見える化できるようにしています。このアプリはゴミ拾いをした人が、写真を投稿する事で、どこで誰がどんなゴミが拾ったかわかるようにして楽しくゴミ拾いを続けていきたいと思います。

多くのに関心もってもらって参加してもらおうことが大事であると考えています。「ゴミ拾い」と「挨拶する」ことは、防犯意識も高くなりお金をかけずに「まち」の価値を上げていけることと考えて、取り組んでいます。皆様と一緒に進める一歩を増やしていきたいと考えています。

市の事業の進捗状況ですが、平成33年の春に市立図書館を駅前の商業施設に移設する予定であります。今まで図書館は本を読んだり、勉強する空間と捉えられていますが、今は大学や海外でもいかにイノベーションをおこす空間にできるかが大事になってきます。企業家や社会課題を解決する学生や主婦など多様な方が

集まってイノベーションがおこるような空間整備をやるとう動いているところがあります。大学等と連携することも視野にいれていますので、今後駅前が賑わう可能性がでてきています。

万博も決まり夢洲・咲洲の話題もありますが、ベイエリアで一番の未利用空間があるのは泉大津フェニックスです。ここは、まだ70ヘクタール以上使うことができ、可能性の塊であると思っています。現在、港湾計画の改定時期にもなり、様々な案が出てきています。直近の具体的なケースとして、

阪神高速の泉大津サービスエリアの展望台が非常にいい景色なのですが、あまり使われていませんでした。この利用について阪神高速さんと話をしたところ、今年の7月に夜景の見えるカプセルホテルとカフェをオープン予定で阪神高速さんが動いています。何もなかったところに民間の力で動きがでてきましたので、これらを「まち」にどのように還元していけるか仕掛けを考える必要があります。

今年は、文科省の認可が下り次第、テクスピア大阪にアジアの高度人材が集まる日本語学校が開校する予定になっております。世界的に人材争奪戦になっており、泉大津に優秀な人材が集まってくると考えています。

昨年は、ドローンの教習所が南海の高架下オープンし、また泉大津商工会議所の1階にはHCIという会社が商工会議所と連携してロボットセンターを昨秋に開設いたしました。このロボットセンターには既に400人以上の方が国内外から視察に来られています。AIについては、市の業務改革に活用するために汎用型のAIを市と協定している企業が作成してくれており国のモデル事業になっています。今後、AIを活用して市の業務改革が進んでいくと考えています。

ドローン・ロボット・AI等が、この地域に来たら学べるとか導入していくための準備になるという仕掛けになってきているのかと思います。

次に日本人の約8割に何らかの異常がみられる「足」に着目し、全国に先駆けて泉大津で取り組んでいる「足指プロジェクト」ですが、足指の重要性がメディアでも多く発信されるようになってきました。足指が浮くことは、冷え性、転びやすい、姿勢が悪くなる、運動能力が伸びない等の原因にも繋がっています。幼児教育現場で足測定をしたところ5本の指がしっかりついた足型の園児は1割もいませんでした。現在、足指履体幹トレーニング、ケア、鼻緒のついた履物(モフ草履)や足袋の推奨を、民間企業等と連携をしながら市民皆さんに普及をしています。今後、リビング・ラボの手法も取り入れながら、泉大津から全国の健康寿命延伸モデルを市民皆さんとつくりたく思います。

泉大津市は、大きなチャンスの時を迎えています。皆様と一緒にチャンスを掴めるようなまちづくりを進めて、泉大津市の発展に力を注いでいきたいと思いますので、ロータリークラブの皆様も引き続きご支援ご協力をお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。



IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3017回

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか